

み ら い

一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク

会報 第 2 号

〒454-0906

名古屋市中川区開平町一丁目 35 番地

TEL・FAX 052-352-0677

TEL・FAX 050-3644-9151

メールアドレス : mirai_aichi@koujinou.netホームページ : <http://koujinou.net>

平成 27 年 2 月 15 日

みらい愛知事業所 発行



春満開
優しい花の香りに
つつまれて
ほっと一息

なばなの里
ベゴニア館
です

目 次

脳外傷友の会全国大会に参加して	2
盛り上がったクリスマス会	3
チャレンジハウスみらいより	4
お知らせ	5

日本脳外傷友の会第 14 回全国大会 in しまね報告

昨年の 10 月に開催されました「しまね大会」は 420 名の参加者を迎えて、溝口善兵衛島根県知事からご挨拶をいただき盛況のうち無事終了しました。当事者奨励賞に続き厚生労働省、文部科学省、国土交通省の 3 省から高次脳機能障害に関する各省の取り組みを発表していただきました。(今回は当事者発表を掲載させていただきました)

今年度は「脳外傷友の会・ナナ」の高橋さんの「今を生きる」14 年前の春まで美術科非常勤講師として働いておりました。春休み自分の絵画制作を一人で家でしていた時、倒れました。10 時間以上経って救急車で運ばれたそうです。結果は脳梗塞でした。14 年たった今では感情コントロールも普通にでき、他人の気持ちも理解できるようになったそうです。

「脳外傷友の会・長良川」長谷川さんの「職場復帰を目指して」仕事帰りに行ったテニススクールで心臓発作を起こし心肺停止状態になりました。現在「会社では何があっても対応します」と力強い言葉をかけていただいているそうです。



「脳外傷友の会・モモ」の田村さん「いらっしゃいませ! 店長は重度障がい者で～す」私の仕事は売店の掃除や拭き掃除、値札貼りをしています。でも先日大きなミスをしました。毎朝注文を受け紙に書くようにしているのに、いつもたくさんあるからと思ってたら、昨日別注文されていたことを忘れ自分の判断ミスで迷惑をかけてしまいました。店長失格です。仕事は時として厳しいものであり、予期しないことも起こり、失敗することもありますが、失敗を何度も重ねながら一歩一歩前進して「情熱」「人の役に立つことをしたい」この気持ちを持ち続けて現実のつらいことから負けず、投げ出さず、逃げ出さず、かたつむりのようにじっくりゆっくり歩んでいきたい。

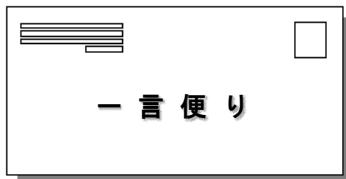
その他に「脳外傷友の会・イーハートープ」の小国さんの「働くことをあきらめないで挑戦して」飲酒運転の車にひき逃げされ高次脳機能障害になりました。私は人の顔が覚えられないなどの障害がありますが、どうしても働きたいのでよろしくお願いします。とこの言葉を飾らず、本音で話しました。結果アルバイト採用になりました。

彼らの表彰されました内容には頑張り、努力、情熱、あきらめないと言った姿が認められたと思います、心から彼らに拍手を送りたいと思いました。



私も「情報欲しさと家族会の皆さんと会えるのを楽しみ」に毎年参加しています、その日は松江について夕方の交流会まで時間がたっぷりありましたで、さっそくタクシーを貸し切って色々回ろうと思いましたが、よくよく計算すると遠出はできず、松山城だけ見学することにしました。この日はお天気が大変よく、青空と爽やかな風と、運よく色々な催しがやつてお、菊人形をみたり、お城の周りを散策したり、近くにある資料館にて抹茶と生菓子でゆったりとした時間も過ごせました。毎日バタバタしていた私には至福のひと時でした。

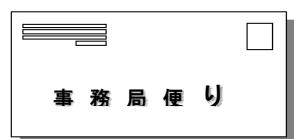




サッカーのイエローカードは、信号機から由来して作られています。イエロー(黄色)には、“警告”という意味がありますが、黄色からは、赤に戻ることも青に進むことも可能です。「障害者自立支援法」が、その名の通り、真に障害のある人の自立と社会参加を支える法律となることを私たちは心より願っています。

一方、英国では、古来、「黄色」は身を守るための色とされていました。黄色が米国に渡って「黄色いリボン」となり、愛する人の幸せを願うものとなりました。私たちは、どんなに重い障害を持っていても、障害のある人びと、一人ひとりのその人らしい自立と社会参加が保障され、人としての尊厳が守られ、住み慣れた町で幸せに暮らしていくことが出来るよう心より願っています。

盛り上かったクリスマス会



事務局便り

26 年 12 月 27 日にクリスマス会を開催、知り合いの“源さん”に来ていただきました



き初めてのクリスマス会を盛大に行いました。源さんは現役の養護学校の先生ですが、マジックあり、コ



ント有りでとても愉快な先生です。

みらいでもクリスマス会で頑張った人にはプレゼントが当たりました。

利用者の皆さんはゲームを楽しんだり、マジック、科学の実験を目の前で見たり、bingoゲームでは大きな箱のプレゼントを職員も頂いて嬉しそうでした。



手作りのケーキもこんなにたくさん作りました
チキンもこんがりと



チャレンジハウスみらい、ヘルパー事業所みらい愛知の企画より

チャレンジハウスみらいでは日々作業をしておりますが、平成 27 年 1 月より月に 1 回～2 回外出をします。利用者の皆さんからの希望で 1 月はなばなの里、名古屋港水族館へ、2 月は科学館、コロナ温泉、3 月は東山動物園、おちよぼ稻荷、とローカルならではの行き先です。なばなの里の見事に咲いてるベゴニア館にて。



1 月 30 日 (金曜日)

午前中は作業をしました。早めの給食を食べて地下鉄八田駅より栄経由名古屋港に乗車してみんなで名古屋港水族館に行ってきました。この日は雨が降っていましたが・・・



それぞれのお小遣いでコーヒー や ポテトを食べたり、イルカショーを見ました。
その他に 1 月の調理実習はちらし寿司、せんざい、大好評だったひろしま焼きです。

調理実習は 2 階のキッチンで下拵えしてから、1 階で作ります。車いすの M さんがいらっしゃいますので全員で交代しながら、ホットプレートで出来る物のみ作ります。M さん、調理実習に必ず参加され「すごい美味しいよ～」と褒めまくりの担当です。



事務局からのお知らせ

■講演会のお知らせ

「親亡き後・支援者亡き後に備えて」
高次脳機能障害について市民への理解を広めることを目的とします。
また、親兄弟亡き後に備えて今から何をしなくてはいけないか、を支援者・ご家族に広く知っていただくことを目指します。



日時：平成 27 年 3 月 21 日（土）13:30～16:30

場所：愛知県青年会館

講師：名古屋市総合リハビリテーションセンター

リハビリテーション科 小川鉄男先生

名古屋市総合リハビリテーションセンター

支援コーディネーター 長谷川真也氏

一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク

理事長 尾山芳子

参加対象：患者・患者様ご家族・行政・福祉・医療関係者

定員：100 名 ファックス・メール・電話でお申し込みください。

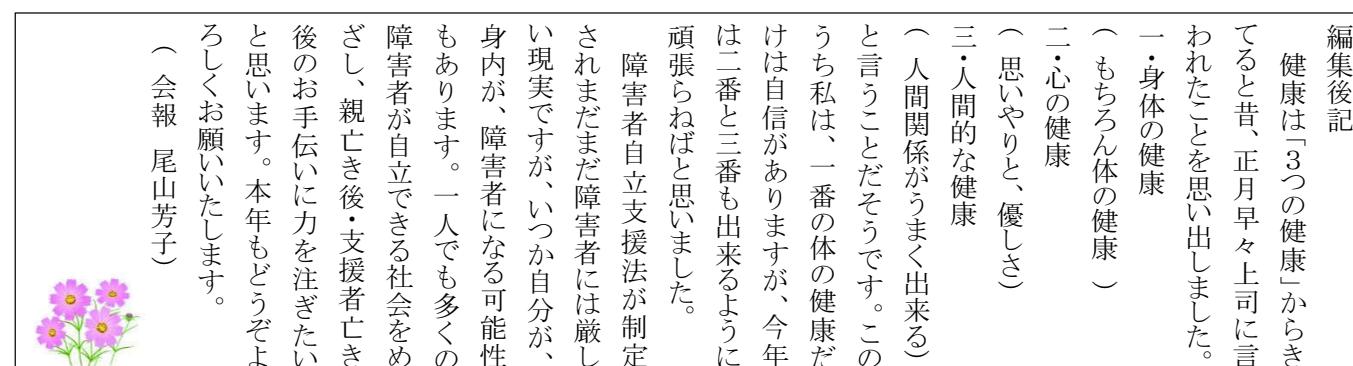
TEL (052) 352-0677 FAX (052) 352-0677

参加費：無料

◆ 2月3日は節分の日でしたので、お琴のボランティの先生に来て演奏していただきました。皆さんお琴練習として一人ずつ手を取って演奏練習をさせていただきました。初めての人ばかりでしたが、大変いい音色を奏でていました。（次回は4月・そば打ち予定）



◆ ちぎり絵、そば打ち体験、書道、トールペイント、木工製品作成など色々なことも取り入れて日々楽しみながら過ごしています。



高次脳機能障害講演会

親なき後・支援者なき後に備えて

～当事者の将来のために家族が今からするべきこと～

講師



小川鉄男氏

医師
名古屋市総合リハビリテーションセンター第一リハビリテーション部長



長谷川真也氏

名古屋市総合リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援課課長



尾山芳子

一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク理事長・チャレンジハウスみらい愛知所長

参加無料



●タクシーで、名古屋駅より約5分
●市バス、名鉄向かい20乗車、納屋橋下車 リッチモンドホテル角、南へ250m
●地下鉄「伏見駅」下車、7番口、西へ300m 旧名会館角、南へ250m

平成27年3月21日(土)

会場：愛知県青年会館

定員：100名（事前申込み要）

13:00 開場 / 13:30 開演



高次脳機能障害無料相談会

高次脳機能障害相談員・当事者家族による各種相談の他、弁護士・行政書士・社会保険労務士等専門家による、交通事故・年金・労災など無料でご相談頂けます。
事前予約制ですので、講演会申込時にご予約ください。

同時開催



参加申し込み・お問い合わせ

052-352-0677

9時～18時 土曜・日曜・祝日休み

Webサイトからもお申込み頂けます

<http://koujinou.net>

高次脳機能障害のポータルサイト

主催：一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク

後援：愛知県・名古屋市・名古屋市総合リハビリテーションセンター・中日新聞社・

愛知県医療ソーシャルワーカー協会（順不同・敬称略）

一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク・みらい愛知

名古屋市中川区開平町1丁目35番地 E-mail info@koujinou.net